

重電機器受注生産品の受注実績 2020年度 第IV四半期(1~3月)

JEMA では、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。

ここに、重電機器受注生産品の「2020年度 第IV四半期(1~3月)」ならびに「2020年度」の受注実績を公表致します。

2020年度 第IV四半期(1~3月)の概要

第IV四半期の受注額は4,634億円(前年同期比91.8%)と4四半期連続の前年同期比減少となった。
(※以下、前年同期比は「同」と略記)

内需、外需共に新型コロナウイルス感染症の影響による需要減少が継続しており、低調な動きとなった。

【需要者別動向】

◆内需は3,381億円(同92.5%)と、4四半期連続の同減少となった。

・製造業は701億円(同114.0%)と、5四半期ぶりの同増加となった。主要需要先で見ると、鉄鋼業、電気・情報通信は同減少となったが、繊維・化学・窯業・土石、はん用・生産用・業務用機械、自動車は同増加となった。

・非製造業は1,967億円(同83.5%)と、4四半期連続の同減少となった。大口需要先である電力業は前期の増加から転じて同減少、運輸業・郵便業・通信業は4四半期連続の同減少となった。

・官公需は682億円(同104.7%)と、9四半期連続の同増加となった。大口需要先である地方公務は6四半期連続の同増加となった。

◆外需は1,252億円(同90.1%)と、5四半期連続の同減少となった。

【製品別動向】

・電力変換装置(内需、外需共に増)は同増加となった。

・発電機(内需増、外需減)、交流電動機(内需、外需共に減)、変圧器(内需増、外需減)、遮断器(内需、外需共に減)、配電装置(内需、外需共に減)、制御装置(内需減、外需増)は同減少となった。

2020年度の概要

2020年度の受注額は1兆5,783億円(同89.1%)と前年比減少となった。年度を通して新型コロナウイルス感染症の影響による需要減少により、低調な水準となった。

◆内需は1兆2,068億円(90.5%)と同減少となった。

・製造業は2,473億円(86.9%)と同減少となった。主要需要先で見ると、はん用・生産用・業務用機械は増加となったが、繊維・化学・窯業・土石、鉄鋼業、電気・情報通信、自動車は同減少となった。

・非製造業は6,924億円(88.2%)と同減少となった。大口需要先である電力業は同増加となったが、運輸業・郵便業・通信業が大幅な同減少となった。

・官公需は2,539億円(103.0%)と2年連続の同増加となり、大口需要先である地方公務も2年連続の同増加となった。

◆外需は3,715億円(84.6%)と3年連続の同減少となった。

重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。

・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等です。

■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

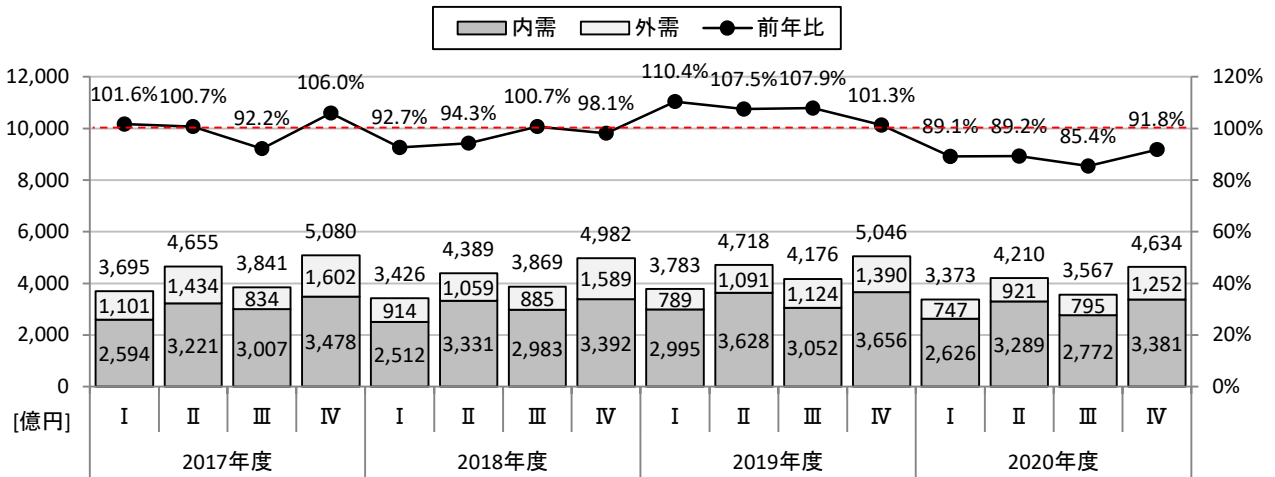
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます。

■公表の種類

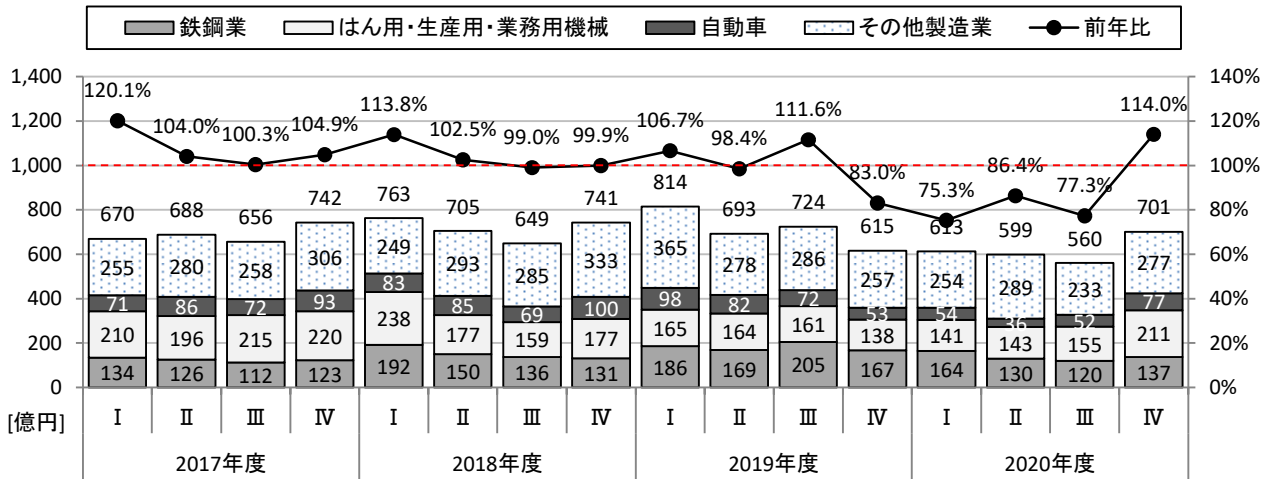
JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

四半期実績の推移

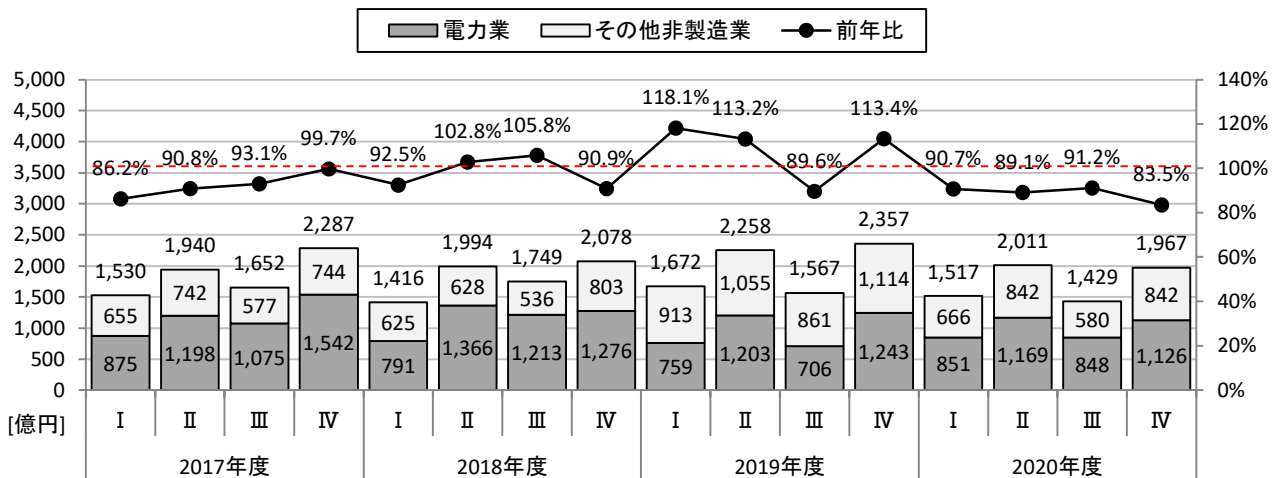
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)

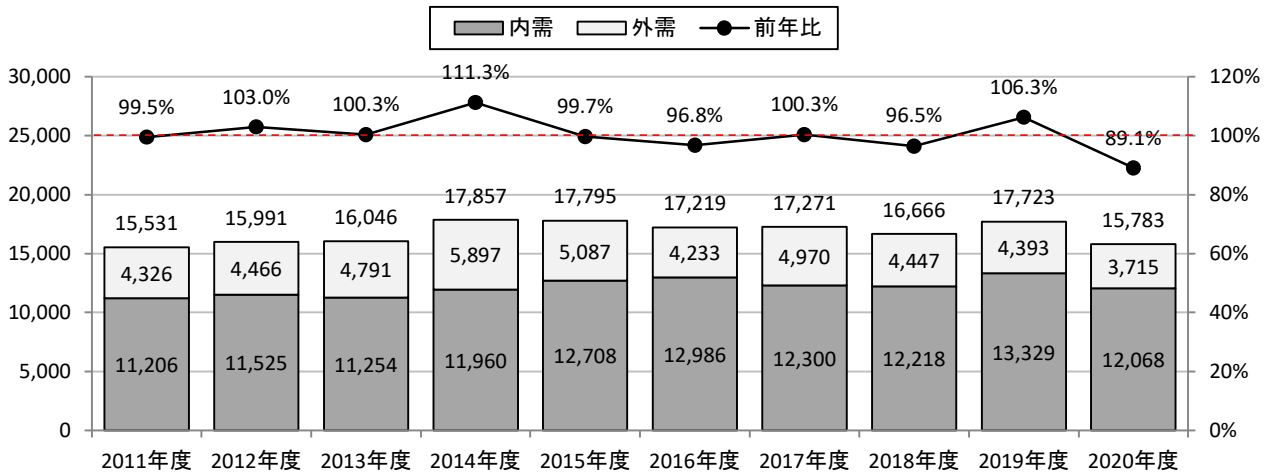


内需の内訳(非製造業)

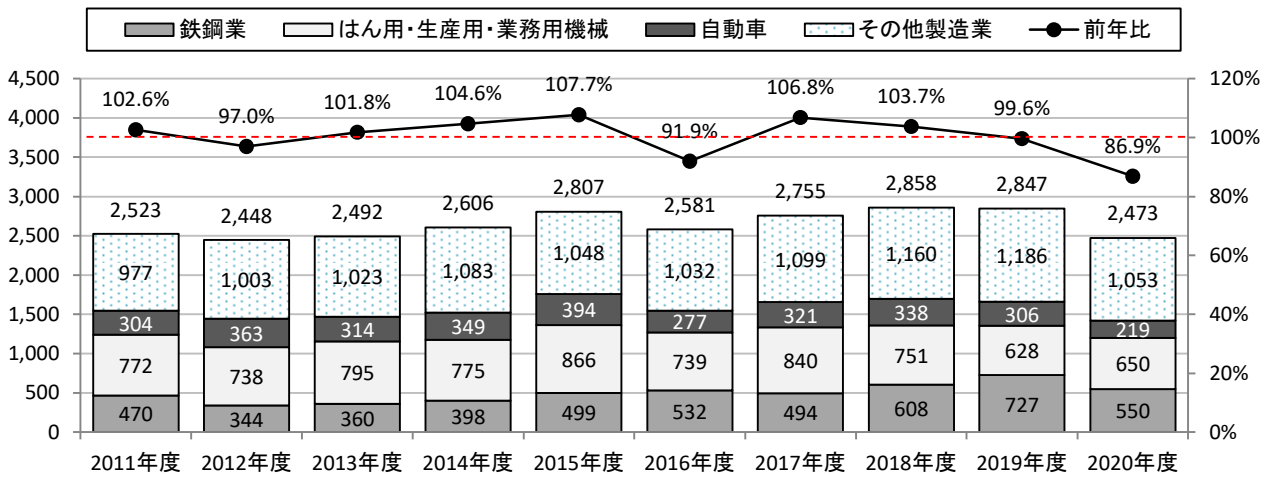


年度実績の推移

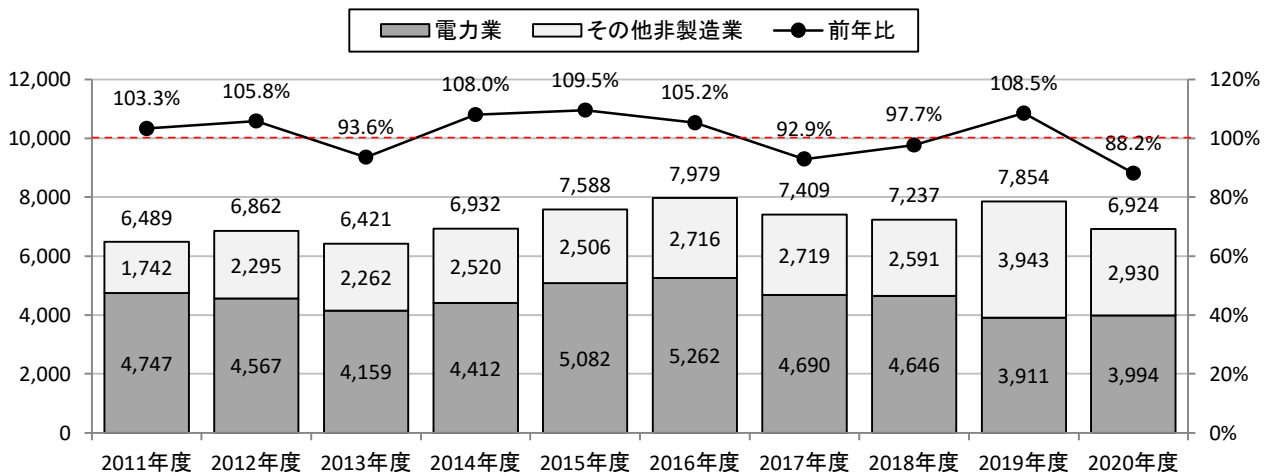
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)



内需の内訳(非製造業)



本資料に関する弊社問い合わせ先

TEL:03-3556-5882

企画部 統計課